

平成17年10月26日

報道機関各位

東北大学多元物質科学研究所

世界初，浮遊シリコン融体の熱伝導率測定に成功!!
(強磁場印加による高温浮遊液滴のレーザー交流カロリメトリー法の開発)

東北大学多元物質科学研究所福山博之助教授と小嶋秀和助手は、大阪府立大大学院工学研究科塚田隆夫教授および本学金属材料研究所淡路 智助教授の協力を得て、強い<磁場>の中で、半導体融液が<固体のように振る舞う>ことを利用し、これまでは不可能であった、半導体シリコン融液のような金属性高温融体の熱伝導率の直接測定を可能とする方法を世界にさきがけて開発することに成功しました。

本研究の成果を下記の要領にて発表させて頂きますので、報道機関の皆様にご参集いただきますよう、ご案内申し上げます。

日時：平成17年11月7日(月)11:00-11:45
場所：〒100-6307 東京都千代田区丸の内2-4-1 丸ビル7・8階
丸ビルコンファレンス スクエア Room 1
TEL 03-3217-7111 (平日10:00~19:00) FAX 03-3217-7501
URL <http://www.marubiru.jp/hc/>
JRご利用の場合/東京駅丸の内南口より徒歩1分
地下鉄をご利用の場合/丸ノ内線東京駅より直結
千代田線二重橋前駅7番出口より徒歩2分

これまで、多くの工業用計測技術は、外国で開発された原理に依存しておりましたが、福山助教授らが開発した方法は、日本発の技術として世界で利用されることになるものと期待されます。この成果は、11月9日(水)から、筑波の産業技術総合研究所で開催の日本熱物性シンポジウムで発表されます。

本研究開発は、(財)機械システム振興協会が日本自転車振興会の機械工業振興事業補助金の交付を受け、その財源により(財)宇宙環境利用推進センターが委託を受けて実施したものです。

(お問合せ先)
東北大学多元物質科学研究所
担当：福山博之 助教授，小嶋秀和 助手
電話 & F A X : 022-217-5178
e-mail : fukuyama@tagen.tohoku.ac.jp
kobatake@tagen.tohoku.ac.jp